

# 取引所為替証拠金取引約款（くりっく365）・新旧対照表

改定	現行
<p>お客様と株式会社東京金融取引所（以下「取引所」といいます。）との間における取引所為替証拠金取引（くりっく365）（以下「本取引」といいます。）に関する契約は、この取引所為替証拠金取引（くりっく365）約款（以下「本約款」といいます。）、<u>本取引の「取引所為替証拠金取引説明書（くりっく365）」</u>（以下「取引説明書」といいます。）及び「Yutaka24（くりっく365）取引ガイド」（以下「ガイド」といいます。）の定めるところによるものとします。</p> <p>お客様は、取引所が開設する取引所為替証拠金取引市場（以下「原市場」といいます。）において、<u>その取次業者（取引参加者）である豊トラスティ証券株式会社（以下「当社」といいます。）を代理人として指名し、本取引を行うにあたり、金融商品取引法その他の法令及び諸規則を遵守し、本約款、取引説明書及びガイドに定める事項を理解した上で、自らの判断と責任において本取引を行うものとします。</u></p> <p>第1条 取引内容の確認と自己責任</p> <p>1. お客様は、当社から受領した本約款、ガイド及び重要事項説明書並びに「電子取引に関する約款（くりっく365）」（以下「電子取引約款」といいます。）、取引説明書及び<u>取引所の定める</u>受託契約準則、<u>その他の諸規程に基づく</u>本取引の内容及び仕組み並びにインターネットによる取引方法を理解した上で、自己の判断と責任において本取引を行うことに合意するものとします。</p> <p>2. «現行通り»</p> <p>3. お客様と取引所との取引は<u>原則</u>インターネット（携帯端末による取引を含みます。）を通じて行われることとし、お客様によるインターネット又はシステムの利用については、電子取引約款によるものとします。</p> <p>第2条 定義</p> <p>本約款において「本取引」とは、お客様が本約款に基づいて証拠金を預託し、原市場においてあらかじめ外国為替の取引価格を対象として約定した数値と、将来の時点における当該外国為替の取引価格<u>との差（新規取引時点と決済取引時点の取引価格との差）</u>に基づいて算出される金銭の授受を約する取引をいうものとします。</p> <p>第3条 取引口座の開設</p> <p>1. お客様が本取引を行うためには、当社所定のYutaka24口座開設書面一式に必要事項を記入し、届出印を押印の上、本人確認書類又はその写しを添え、当社に提出するものとします。</p> <p>2. ～3. «現行通り»</p> <p>第4条 お客様からの事前届出</p>	<p>お客様と株式会社東京金融取引所（以下「取引所」といいます。）との間における取引所為替証拠金取引（くりっく365）（以下「本取引」といいます。）に関する契約は、この取引所為替証拠金取引（くりっく365）約款（以下「本約款」といいます。）、取引所為替証拠金取引説明書（くりっく365）（以下「取引説明書」といいます。）及び「Yutaka24（くりっく365）取引ガイド」（以下「ガイド」といいます。）の定めるところによるものとします。</p> <p>お客様は、取引所が開設する取引所為替証拠金取引市場（以下「原市場」といいます。）においてその取次業者（取引参加者）である豊トラスティ証券株式会社（以下「当社」といいます。）を代理人として指名し、本取引を行うにあたり、金融商品取引法その他の法令及び諸規則を遵守し、本約款、取引説明書及びガイドに定める事項を理解した上で、自らの判断と責任において本取引を行うものとします。</p> <p>第1条 取引内容の確認と自己責任</p> <p>1. お客様は、当社から受領した本約款、ガイド及び重要事項説明書並びに「電子取引に関する約款（くりっく365）」（以下「電子取引約款」といいます。）、取引説明書及び<u>当社ホームページ上（一部リンク先）において閲覧・ダウンロードが可能な</u>受託契約準則<u>（取引所）</u>その他の諸規程<u>を熟読し、</u>本取引の内容及び仕組み並びにインターネットによる取引方法を理解した上で、<u>ガイドに従って</u>自己の判断と責任において本取引を行うことに合意するものとします。</p> <p>2. «省略»</p> <p>3. お客様と取引所との取引はインターネット（携帯端末による取引を含みます。）を通じて行われることとし、お客様によるインターネット又はシステムの利用については、電子取引約款によるものとします。</p> <p>第2条 定義</p> <p>本約款において「本取引」とは、お客様が本約款に基づいて証拠金を預託し、原市場においてあらかじめ外国為替の取引価格を対象として約定した数値（<u>約定価格</u>）と、将来の時点における当該外国為替の取引価格<u>の差</u>に基づいて算出される金銭の授受を約する取引をいうものとします。</p> <p>第3条 取引口座の開設</p> <p>1. お客様が本取引を行うためには、当社所定のYutaka24口座開設書面一式に必要事項を記入し、届出印を押印の上、本人確認書類又はその写しを添え、当社に提出するものとします。<u>なお、オンライン口座開設フォームよりYutaka24の口座開設のお申込みもできるものとします。</u></p> <p>2. ～3. «省略»</p> <p>第4条 お客様からの事前届出</p>

1. 本取引を希望するお客様は、書面にて以下に掲げる事項を事前に当社に届け出るものとします。ただし、電磁的方法による届出も当社が認めた場合には受け付けるものとします。

(1) ～ (8) 《現行通り》

2. お客様は、前項第1号から第8号までに規定する届出事項に変更があったときには、遅滞なくその旨を当社に書面にて届け出るものとします。ただし、電磁的方法による届出も当社が認めた場合には受け付けるものとします。

第5条 証拠金の預託

1. お客様は、本取引を開始するにあたり、取引により生じるお客様の一切の債務を担保するため、当社の指定する銀行口座に証拠金を入金するものとします。なお、初回入金額は、当社が別途定める最低額以上で証拠金預託限度額（以下「取引限度額」といいます。）以下とします。

2. 《現行通り》

3. 第1項の証拠金の額（以下「証拠金預託額」といいます。）は、当社が別途定める金額にお客様が取引を希望する枚数を乗じた金額（以下「維持証拠金額」といいます。）以上とし、お客様はその額を取引開始までに円貨にて入金するものとします。

4. 《現行通り》

5. 当社は、お客様の収入及び資産状況等を勘案した上で、別途お客様の取引限度額を設定するものとし、お客様からの当該取引限度額を超えての入金（ネット金額：お客様からの差引入金額ベース）は、受け入れないものとします。ただし、追加証拠金に対応するための入金に関しては、この限りではありません。

6. ～ 7. 《現行通り》

第6条 追加証拠金の預託の時期及び不納による建玉の処分（追加証拠金制度）

1. お客様は、毎取引日の取引終了後の値洗い処理により確定した証拠金の額（以下「有効証拠金額」といいます。）を維持証拠金額以上に維持するものとします。

2. 値洗い処理により算出した有効証拠金額が維持証拠金額を下回った場合には、当社はその差額を「証拠金不足額」（以下「不足額」といいます。）として、お客様に請求するものとします。ただし、取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日にあたる場合には、その取引終了後の新たな値洗い処理によって算出し直した上で、当社は必要に応じて新たに不足額の請求を行うものとします。

3. 前項の規定により、取引終了後、当社はお客様に不足額の請求を行い、取引再開日の日本時間午後5時30分までにお客様からの不足額以上の入金、又は維持証拠金額を満たすまでの建玉の調整が行われたことを当社にて確認できない場合には、当社は、お客様が保有する建玉の全部をお客様の計算において反対売買により任意に処分できるものとします。ただし、取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日にあたる場合には、当社は、当該建玉の処分を行わないものとします。また、取引時間の短縮等の変更が生じた場合には、当社は当該建玉処分の時間を取引再開日の日本時間午後12時30分に変更を行うことができるものとします。

1. 本取引を希望するお客様は、書面にて以下に掲げる事項を事前に当社に届け出るものとします。ただし、第4号から第8号までに掲げる事項については、電磁的方法による届出も当社が認めた場合には受け付けるものとします。

(1) ～ (8) 《省略》

2. お客様は、前項第1号から第8号までに規定する届出事項に変更があったときには、遅滞なくその旨を当社に書面にて届け出るものとします。ただし、前項第7号のメールアドレスについての変更届出は、電磁的方法によることもできるものとします。

第5条 証拠金の預託

1. お客様は、本取引を開始するにあたり、取引により生じるお客様の一切の債務を担保するため、当社の指定する銀行口座に証拠金を入金するものとします。なお、初回入金額は、当社が別途定めるものとします。

2. 《省略》

3. 第1項の証拠金の額（以下「証拠金預託額」といいます。）は、当社が別途定める金額にお客様が取引を希望する枚数を乗じた金額（以下「必要証拠金額」といいます。）以上とし、お客様はその額を取引開始までに円貨にて入金するものとします。

4. 《省略》

5. 当社は、お客様の収入及び資産状況等を勘案した上で、別途お客様の証拠金預託限度額（以下「取引限度額」といいます。）を設定するものとし、お客様からの当該取引限度額を超えての入金（ネット金額：お客様からの差引入金額ベース）は、受け入れないものとします。ただし、追加証拠金に対応するための入金に関しては、この限りではありません。

6. ～ 7. 《省略》

第6条 追加証拠金の預託の時期及び不納による建玉の処分（追加証拠金制度）

1. お客様は、毎取引日の取引終了後の値洗い処理により確定した証拠金の額（以下「有効証拠金額」といいます。）を必要証拠金額以上に維持するものとします。

2. 値洗い処理により算出した有効証拠金額が必要証拠金額を下回った場合には、当社はその差額を「証拠金不足額」（以下「不足額」といいます。）として、お客様に請求するものとします。ただし、取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日にあたる場合には、その取引終了後の新たな値洗い処理によって算出し直した上で、当社は必要に応じて新たに不足額の請求を行うものとします。

3. 前項の規定により、取引終了後、当社はお客様に不足額の請求を行い、取引再開日の日本時間午後5時までにお客様からの不足額以上の入金又は必要証拠金額を満たすまでの建玉の調整が行われたことを当社にて確認できない場合には、当社は、お客様が保有する建玉の全部をお客様の計算において反対売買により任意に処分できるものとします。ただし、取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日にあたる場合には、当社は、当該建玉の処分を行わないものとします。また、取引時間の短縮等の変更が生じた場合には、当社は当該建玉処分の時間変更を行うことができるものとします。

4. 第1項に定める有効証拠金額とは、お客様が本取引口座に預託した証拠金預託額（受渡しが完了している手数料含む）、評価損益額、スワップ累計額及び受渡予定額（受渡日が到来していない手数料含む）の合計金額から出金依頼額を差し引いた金額をいいます。なお、手数料は新規・決済ともに約定ごとに差し引かれます。

第7条 証拠金の預託の方法  
《現行通り》

第8条 預託証拠金の返還  
《現行通り》  
出金可能額：①証拠金預託額

②証拠金預託額＋〔評価損益額＋スワップ累計額〕（マイナス(含み損)の場合のみ）  
＋受渡予定額－出金依頼額－維持証拠金額－総必要証拠金額（発注に必要な証拠金額）  
\*①、②のいずれか金額の少ない方の金額を出金可能額とします。

第9条 売買注文  
《現行通り》  
(1) 通貨ペア（銘柄）の種類  
(2) ～ (7) 《現行通り》

第10条 為替レート ～ 第11条 評価損益計算  
《現行通り》

第12条 スワップポイント  
本取引では、通貨間の金利格差に対してスワップポイントが定められています。お客様の通貨ペア（銘柄）の建玉によって、スワップポイントの受払いが発生します。スワップポイントは、市場の需給関係、金利変動や金融情勢の変化等により日々変動し、受取りから支払いに転じることがあります。スワップポイントは取引所が発表するものとし、当社は、その受払いをお客様の取引口座において日々計算するものとし

第13条 日々の計算及び金銭の授受 ～ 第14条 差金決済  
《現行通り》

第15条 ロスカット制度  
1. 当社は、本取引に係るお客様の建玉に対する有効証拠金額がお客様の維持証拠金額の50%を下回った場合には、お客様に通知することなく、自動的に取引時間内の建玉の全部をお客様の計算において反対売買により決済を行うものとし

4. 第1項に定める有効証拠金額とは、お客様が本取引口座に預託した証拠金預託額（受渡しが完了している手数料含む）、評価損益額、スワップ累計額及び決済損益予定額（受渡日が到来していない手数料含む）の合計金額から出金指示額を差し引いた金額をいいます。なお、手数料は新規・決済ともに約定ごとに差し引かれます。

第7条 証拠金の預託の方法  
《省略》

第8条 預託証拠金の返還  
《省略》  
出金可能額：①証拠金預託額  
②証拠金預託額＋〔評価損益額＋スワップ累計額〕（マイナス(含み損)の場合のみ）  
＋決済損益予定額－出金指示額－必要証拠金額－発注証拠金額（発注に必要な証拠金額）  
\*①、②のいずれか金額の少ない方の金額を出金可能額とします。

第9条 売買注文  
《省略》  
(1) 通貨ペアの種類  
(2) ～ (7) 《省略》

第10条 為替レート ～ 第11条 評価損益計算  
《省略》

第12条 スワップポイント  
本取引では、通貨間の金利格差に対してスワップポイントが定められています。お客様の通貨ペアの建玉によって、スワップポイントの受払いが発生します。スワップポイントは、市場の需給関係、金利変動や金融情勢の変化等により日々変動し、受取りから支払いに転じることがあります。スワップポイントは取引所が発表するものとし、当社は、その受払いをお客様の取引口座において日々計算するものとし

第13条 日々の計算及び金銭の授受 ～ 第14条 差金決済  
《省略》

第15条 ロスカット制度  
1. 当社は、本取引に係るお客様の建玉に対する有効証拠金額がお客様の必要証拠金額の50%を下回った場合には、お客様に通知することなく、自動的に取引時間内の建玉の全部をお客様の計算において反対売買により決済を行うものとし

2. ≪現行通り≫

第16条 諸経費  
≪現行通り≫

第17条 成立及び月次ごとの通知等

1. ≪現行通り≫

- (1) 通貨ペア (銘柄) の種類
- (2) ～ (6) ≪現行通り≫

2. ≪現行通り≫

- (1) 通貨ペア (銘柄) の種類
- (2) ～ (7) ≪現行通り≫

3. 当社は、月次ごとに次に掲げる事項について遅滞なくお客様に報告をするものとします。

- (1) 月末日時点の口座状況
- (2) 月内に約定した取引明細
- (3) 月末日時点の建玉明細
- (4) 月内に受渡しのあった証拠金の入出金明細（入金、出金、為替差損益、スワップポイント、委託手数料等を含みます。）

- (5) ≪現行通り≫

4. 本条第1項から第3項までに定める通知又は報告は、原則として電磁的方法によるものとします。

第18条 公租公課 ～ 第19条 相殺  
≪現行通り≫

第20条 取引証拠金等による債務の弁済

1. ～2. ≪現行通り≫

3. 預託されている取引証拠金のうち、前項の規定により留保された当該留保額については、維持証拠金額の計算においては預託されている取引証拠金とみなさないものとします。

4. ～5. ≪現行通り≫

第21条 期限の利益の喪失 ～ 第25条 通知の効力  
≪現行通り≫

第26条 免責事項

1. ≪現行通り≫

- (1) ～ (10) ≪現行通り≫

(11) 市場価格の非提示等により、反対売買若しくは転売又は買戻しによる決済ができずに生じた損害

(12) ≪繰り下げ≫

2. ≪現行通り≫

2. ≪省略≫

第16条 諸経費  
≪省略≫

第17条 成立及び四半期ごとの通知等

1. ≪省略≫

- (1) 通貨ペアの種類
- (2) ～ (6) ≪省略≫

2. ≪省略≫

- (1) 通貨ペアの種類
- (2) ～ (7) ≪省略≫

3. 当社は、四半期ごとに次に掲げる事項について遅滞なくお客様に報告をするものとします。

- (1) 四半期末日時点の口座状況
- (2) 四半期内に約定した取引明細
- (3) 四半期末日時点の建玉明細
- (4) 四半期内に受渡しのあった証拠金の入出金明細（入金、出金、為替差損益、スワップポイント、委託手数料等を含みます。）

- (5) ≪省略≫

4. 本条第1項から第3項までに定める通知又は報告は、書面又は電磁的方法によるものとします。

第18条 公租公課 ～ 第19条 相殺  
≪省略≫

第20条 取引証拠金等による債務の弁済

1. ～2. ≪省略≫

3. 預託されている取引証拠金のうち、前項の規定により留保された当該留保額については、必要証拠金額の計算においては預託されている取引証拠金とみなさないものとします。

4. ～5. ≪省略≫

第21条 期限の利益の喪失 ～ 第25条 通知の効力  
≪省略≫

第26条 免責事項

1. ≪省略≫

- (1) ～ (10) ≪省略≫

≪追加≫

(11) ≪省略≫

2. ≪省略≫

第 2 7 条 解約

1. < 現行通り >

(1) ～ (4) < 現行通り >

< 削除 >

(5) ～ (9) < 順次繰り上げ >

2. ～ 3. < 現行通り >

4. お客様の取引口座に建玉及び証拠金預託額がない状態が1年以上継続した場合は休眠扱いとし、その後、本取引を再開する際には、原則として本契約の取引口座開設時と同等の所定の手続きを必要とするものとします。

第 2 8 条 債権譲渡等の禁止 ～ 第 2 9 条 協議事項

< 現行通り >

第 3 0 条 約款の変更と承認

1. < 現行通り >

2. 本約款が変更された場合には、当社は、お客様にその変更事項を当社ホームページ等において公表するものとします。

第 3 1 条 合意管轄

< 現行通り >

付則

1. ～ 9. < 現行通り >

1 0. 本約款は、2020年11月1日より一部を改定し実施する。

1 1. 本約款は、2021年1月25日より一部を改定し実施する。

第 2 7 条 解約

1. < 省略 >

(1) ～ (4) < 省略 >

(5) お客様の取引口座に建玉がなくかつ有効証拠金額が本取引を行うために必要な金額に満たない状態が1年以上継続したとき又は建玉及び証拠金預託額がない状態が1年以上継続したとき

(6) ～ (10) < 省略 >

2. ～ 3. < 省略 >

< 追加 >

第 2 8 条 債権譲渡等の禁止 ～ 第 2 9 条 協議事項

< 省略 >

第 3 0 条 約款の変更と承認

1. < 省略 >

2. 本約款が変更された場合には、当社は、お客様にその変更事項を当社ホームページ上において公表するものとします。

第 3 1 条 合意管轄

< 省略 >

付則

1. ～ 9. < 省略 >

1 0. 本約款は、令和2年11月1日より一部を改訂し実施する。

< 追加 >

## 電子取引に関する約款（くりっく365）・新旧対照表

改定	現行
<p>第1条 契約約款の趣旨</p> <p>1. ≪現行通り≫</p> <p>2. お客様は、本システムの利用に<u>あたって</u>、本電子取引約款の各条項に同意するものとします。</p> <p>第2条 本システムのご利用</p> <p>1. 本システムは、当社を取次業者（取引参加者）として本取引を行うことを希望するお客様が、ガイド及び取引説明書、取引約款<u>及び取引所の定める</u>受託契約準則、<u>その他の諸規程の内容に同意した上で</u>、当社所定のYutaka24口座開設申込書に必要事項を記入してYutaka24の口座開設を申し込み、かつ当社が審査して承認した場合に限り、利用できるものとします。</p> <p>2. ～4. ≪現行通り≫</p> <p>第3条 サービスの内容</p> <p>1. ≪現行通り≫</p> <p>2. 前項ただし書きの規定により本サービスの内容が変更された場合には、当社は、お客様にその変更事項を当社ホームページ<u>等</u>において速やかに公表するものとします。</p> <p>3. ≪現行通り≫</p> <p>第4条 利用条件</p> <p>≪現行通り≫</p> <p>第5条 利用時間</p> <p>1. ≪現行通り≫</p> <p>2. 前項ただし書きの規定により利用時間の内容が変更された場合には、当社は、お客様にその変更事項を当社ホームページ<u>等</u>において速やかに公表するものとします。</p> <p>第6条 商品の種類 ～ 第7条 注文の受付</p> <p>≪現行通り≫</p> <p>第8条 注文の有効期限</p> <p>1. お客様が本システムを利用して当社に委託した注文のうち、有効期限を指定しない注文は、当社がその注文を受け付けた取引日当日、<u>又は取引再開日</u>のみ有効とします。</p> <p>2. お客様が本システムを利用して当社に委託した注文の有効期限を指定する場合は、当日 <u>(DAY)</u>、週末 <u>(WEEK)</u> 又は無期限 <u>(GTC)</u> のいずれかを選択するものとします。</p> <p>第9条 注文の変更と取消</p>	<p>第1条 契約約款の趣旨</p> <p>1. ≪省略≫</p> <p>2. お客様は、本システムの利用に<u>より</u>、本電子取引約款の各条項に同意するものとします。</p> <p>第2条 本システムのご利用</p> <p>1. 本システムは、当社を取次業者（取引参加者）として本取引を行うことを希望するお客様が、ガイド及び取引説明書、取引約款<u>並びに当社ホームページ上（一部はリンク先）において閲覧・ダウンロードが可能</u><u>な</u>受託契約準則 <u>(取引所)</u> <u>その他の諸規程の内容に同意した上で</u>、当社所定のYutaka24口座開設申込書に必要事項を記入<u>し又はオンライン口座開設フォームに入力</u>してYutaka24の口座開設を申し込み、かつ当社が審査して承認した場合に限り、利用できるものとします。</p> <p>2. ～4. ≪省略≫</p> <p>第3条 サービスの内容</p> <p>1. ≪省略≫</p> <p>2. 前項ただし書きの規定により本サービスの内容が変更された場合には、当社は、お客様にその変更事項を当社ホームページ<u>上</u>において速やかに公表するものとします。</p> <p>3. ≪省略≫</p> <p>第4条 利用条件</p> <p>≪省略≫</p> <p>第5条 利用時間</p> <p>1. ≪省略≫</p> <p>2. 前項ただし書きの規定により利用時間の内容が変更された場合には、当社は、お客様にその変更事項を当社ホームページ<u>上</u>において速やかに公表するものとします。</p> <p>第6条 商品の種類 ～ 第7条 注文の受付</p> <p>≪省略≫</p> <p>第8条 注文の有効期限</p> <p>1. お客様が本システムを利用して当社に委託した注文のうち、有効期限を指定しない注文は、当社がその注文を受け付けた取引日当日のみ有効とします。</p> <p>2. お客様が本システムを利用して当社に委託した注文の有効期限を指定する場合は、当日、週末又は無期限のいずれかを選択するものとします。</p> <p>第9条 注文の変更と取消</p>

- 1. < 現行通り >
- 2. 前項の変更は、価格、発注数量のみの変更とし、注文変更画面から変更内容を入力し、確認ボタンを押すことにより行うものとします。

<< 削除 >>

第 1 0 条 注文の執行 ～ 第 1 1 条 注文及び取引の照会  
< 現行通り >

第 1 2 条 証拠金の預託及び出金

- 1. ～ 3. < 現行通り >
- 4. お客様は、お客様が本システムの出金 依頼 画面において出金内容を入力することにより出金の 依頼 をすることができます。
- 5. お客様が本システムを利用して出金 依頼 をした場合であっても、以下の各号の一に該当することとなったときには、お客様への出金を停止又は制限させていただきます。この場合、お客様は異議申し立てができないものとします。
  - (1) 取引終了時において、有効証拠金額が 維持 証拠金額を下回ったため、出金 依頼 が取り消された場合
  - (2) 取引所又は当社の本システムに障害が発生し、当社において出金 依頼 に係る処理ができなかった場合
  - (3) < 現行通り >
- 6. 出金 依頼 額は、出金可能額の範囲内で5,000円以上 を基本 とし、口座残高が5,000円未満の場合には全額とすることを求めるものとします。なお、その求めにもかかわらず、5,000円未満の少額出金が繰り返される場合には、当社は次項の定めにかかわらず、振込手数料を請求することができるものとします。
- 7. 証拠金の預託又は出金は、双方の 指定 金融機関口座宛の振込によるものとし、振込手数料は原則として振込側が負担するものとします。ただし、お客様が 当社において他商品の取引口座を開設している場合、所定の手続きを経て 当社が振替を承認した場合についてはこの限りではありません。

第 1 3 条 出金 依頼 の取消と変更

お客様が本システムを利用して行った出金 依頼 の変更は、出金 依頼 を取り消した後に 出金依頼 を再度入力することにより行うことができます。ただし、出金 依頼 の取消は、取引時間中においてのみ受け付けられるもの とします。

第 1 4 条 手数料 ～ 第 1 5 条 通知の方法及び効力  
< 現行通り >

第 1 6 条 お客様からのお問い合わせ等

- 1. < 現行通り >

- 1. < 省略 >
- 2. 前項の変更は、価格、発注数量、有効期限 のみの変更とし、注文変更画面から変更内容を入力し、確認ボタンを押すことにより行うものとします。

3. 毎取引日の値洗いの結果、お客様の取引口座に証拠金不足額が発生した場合には、当社は全ての新規注文を取り消すことができるものとします。

第 1 0 条 注文の執行 ～ 第 1 1 条 注文及び取引の照会  
< 省略 >

第 1 2 条 証拠金の預託及び出金

- 1. ～ 3. < 省略 >
- 4. お客様は、お客様が本システムの出金 指示 画面において出金内容を入力することにより出金の 指示 をすることができます。
- 5. お客様が本システムを利用して出金 指示 をした場合であっても、以下の各号の一に該当することとなったときには、お客様への出金を停止又は制限させていただきます。この場合、お客様は異議申し立てができないものとします。
  - (1) 取引終了時において、有効証拠金額が 必要 証拠金額を下回ったため、出金 指示 が取り消された場合
  - (2) 取引所又は当社の本システムに障害が発生し、当社において出金 指示 に係る処理ができなかった場合
  - (3) < 省略 >
- 6. 出金 指示 額は、出金可能額の範囲内で5,000円以上とし、口座残高が5,000円未満の場合には全額とします。
- 7. 証拠金の預託又は出金は、双方の金融機関口座宛の振込によるものとし、振込手数料は原則として振込側が負担するものとします。ただし、お客様が 当社の取引所株価指数証拠金取引口座を開設している場合又はその他 当社が振替を承認した場合についてはこの限りではありません。

第 1 3 条 出金 指示 の取消と変更

お客様が本システムを利用して行った出金 指示 の変更は、出金 指示 を取り消した後に 指示 を再度入力することにより行うことができます。ただし、出金 指示 の取消は、取引所の取引清算時より前まで とします。

第 1 4 条 手数料 ～ 第 1 5 条 通知の方法及び効力  
< 省略 >

第 1 6 条 お客様からのお問い合わせ等

- 1. < 省略 >

2. 当社は、お客様に緊急に連絡することが必要となった場合には、届出を受けた緊急連絡先又はメールアドレス等に連絡するものとします。

3. ≪現行通り≫

第17条 使用機器のトラブル・障害 ～ 第18条 免責事項

≪現行通り≫

第19条 本システム及び本サービスの利用の解除又は中止

1. ≪現行通り≫

(1) ～ (6) ≪現行通り≫

(7) インターネット又は電子メール機能が正常に作動しないことなどにより、当社がお客様と長期にわた  
り連絡が取れない状態が続いた場合

(8) ～ (12) ≪現行通り≫

2. ≪現行通り≫

第20条 届出事項の変更 ～ 第21条 協議事項

≪現行通り≫

第22条 約款の変更と承認

1. ≪現行通り≫

2. 本電子取引約款が変更された場合には、当社は、お客様にその変更をホームページ等において公表するものとします。

第23条 合意管轄

≪現行通り≫

付則

1. ～ 8. ≪現行通り≫

9. 本約款は、2020年11月1日より一部を改定し実施する。

10. 本約款は、2021年1月25日より一部を改定し実施する。

2. 当社は、お客様に緊急に連絡することが必要となった場合には、届出を受けた緊急連絡先又はメールアドレス等に連絡します。

3. ≪省略≫

第17条 使用機器のトラブル・障害 ～ 第18条 免責事項

≪省略≫

第19条 本システム及び本サービスの利用の解除又は中止

1. ≪省略≫

(1) ～ (6) ≪省略≫

(7) インターネット又は電子メール機能が正常に作動しないことなどにより、当社がお客様と 1年以上連  
絡が取れない場合

(8) ～ (12) ≪省略≫

2. ≪省略≫

第20条 届出事項の変更 ～ 第21条 協議事項

≪省略≫

第22条 約款の変更と承認

1. ≪省略≫

2. 本電子取引約款が変更された場合には、当社は、お客様にその変更をホームページにおいて公表するものとします。

第23条 合意管轄

≪省略≫

付則

1. ～ 8. ≪省略≫

9. 本約款は、令和2年11月1日より一部を改訂し実施する。

≪追加≫

## 取引所為替証拠金取引説明書・新旧対照表

	改定	現行
表紙	<p>           ≪ 現行通り ≫  <b><u>2021年1月</u></b> </p> <p>取引所為替証拠金取引の仕組みについて</p> <p>           ≪ 現行通り ≫         </p> <p>           ☆取引の方法            ≪ 現行通り ≫         </p> <p>           ☆証拠金            (1) 証拠金の計算方法            ≪ 現行通り ≫         </p> <p>           一律方式では、建玉数量 1 枚につき当社が定めた取引証拠金額と建玉枚数を乗じた金額を<b><u>維持</u></b>証拠金額とします。証拠金預託額に評価損益額、保有建玉のスワップポイントの累計額と<b><u>受渡</u></b>予定額を加算し、出金<b><u>依頼</u></b>額を差し引いた額を有効証拠金額とします。         </p> <p>※ ≪ 現行通り ≫</p> <p>           ※<b><u>受渡</u></b>予定額とは、受渡が完了していない決済損益、当該スワップ損益累計額並びに受渡が完了していない手数料の合計額をいいます。         </p> <p>           (2) 証拠金の差入れ            お客様は、当社に取引所為替証拠金取引を委託する際に、想定元本金額の 4 % に相当する円価額、又は想定元本金額にその時々相場変動に基づいて取引所が算出した比率を乗じて得た円価額のうち、いずれか大きい方の円価額以上で当社が定める額以上を発注証拠金（発注に必要な証拠金<b><u>と手数料</u></b>）として差し入れる必要があります。         </p> <p>           (3) 証拠金の維持            お客様の有効証拠金額が取引日ごとに建玉について計算された<b><u>維持</u></b>証拠金額を下回った場合、お客様は、その取引終了時点の<b><u>維持</u></b>証拠金額と有効証拠金額との差額（不足金額）で当社が定める額以上を、指定した日時までに差し入れるか、もしくはその不足額以上の<b><u>維持</u></b>証拠金額の減額を建玉の調整によって<b><u>行われたことが確認でき</u></b>なければなりません。         </p> <p>           (4) 有価証券等による充当            ≪ 現行通り ≫         </p> <p>           (5) 評価損益及びスワップポイントの取扱い            保有建玉に係る評価損益の合計額、ロールオーバーに伴い発生したスワップポイントの累積額の合計額が<b><u>正である場合には、その合計額に相当する額は発注可能額には算入されません。また、その合計額が負である場合には、</u></b>合計額に相当する額は発注可能額に算入されます。         </p> <p>           (6) 証拠金の引出し         </p>	<p>           ≪ 省略 ≫  <b><u>2020年11月</u></b> </p> <p>取引所為替証拠金取引の仕組みについて</p> <p>           ≪ 省略 ≫         </p> <p>           ☆取引の方法            ≪ 省略 ≫         </p> <p>           ☆証拠金            (1) 証拠金の計算方法            ≪ 省略 ≫         </p> <p>           一律方式では、建玉数量 1 枚につき当社が定めた取引証拠金額と建玉枚数を乗じた金額を<b><u>必要</u></b>証拠金額とします。証拠金預託額に評価損益額、保有建玉のスワップポイントの累計額と<b><u>決済損益</u></b>予定額を加算し、出金<b><u>指示</u></b>額を差し引いた額を有効証拠金額とします。         </p> <p>※ ≪ 省略 ≫</p> <p>           ※<b><u>決済損益</u></b>予定額とは、受渡が完了していない決済損益、当該スワップ損益累計額並びに受渡が完了していない手数料の合計額をいいます。         </p> <p>           (2) 証拠金の差入れ            お客様は、当社に取引所為替証拠金取引を委託する際に、想定元本金額の 4 % に相当する円価額、又は想定元本金額にその時々相場変動に基づいて取引所が算出した比率を乗じて得た円価額のうち、いずれか大きい方の円価額以上で当社が定める額以上を発注証拠金（発注に必要な証拠金）として差し入れる必要があります。         </p> <p>           (3) 証拠金の維持            お客様の有効証拠金額が取引日ごとに建玉について計算された<b><u>必要</u></b>証拠金額を下回った場合、お客様は、その取引終了時点の<b><u>必要</u></b>証拠金額と有効証拠金額との差額（不足金額）で当社が定める額以上を、指定した日時までに差し入れるか、もしくはその不足額以上の<b><u>必要</u></b>証拠金額の減額を建玉の調整によって<b><u>行わ</u></b>なければなりません。         </p> <p>           (4) 有価証券等による充当            ≪ 省略 ≫         </p> <p>           (5) 評価損益及びスワップポイントの取扱い            保有建玉に係る評価損益の合計額、ロールオーバーに伴い発生したスワップポイントの累積額の合計額が<b><u>プラスであっても、マイナスであっても、</u></b>合計額に相当する額は発注可能額に算入されます。         </p> <p>           (6) 証拠金の引出し         </p>

《現行通り》

(7) ロスカットの取扱い

当社は、お客様の建玉を決済した場合に生じることとなる損失の額（値洗いによる評価損益及びスワップポイントを加減します。）が**維持**証拠金額に対し**50%を上回る**割合に達した場合、損失の拡大を防ぐため、お客様の計算において転売又は買戻しを行うことが**できるものとします**（「ロスカットルール」といいます）。

《現行通り》

(8) 証拠金不足の解消を所定の日時までに行わなかった場合の取扱い

お客様が追加証拠金の預託又は建玉の調整等により証拠金不足の解消を**取引再開日の日本時間午後5時30分（取引時間の短縮等の変更が生じた場合には、取引再開日の日本時間午後12時30分）**までに行わなかった場合には、当社は、当該取引所為替証拠金取引を決済するため、任意に、お客様の計算において転売又は買戻しを行うものとします（お客様が取引所為替証拠金取引に関し、当社に支払うべき金銭を支払わない場合についても、同様です）。

(9) 証拠金の管理 ～ (11) その他

《現行通り》

☆決済時の金銭の授受 ～ ☆課税上の取扱い

《現行通り》

当社への取引の委託の手続きについて

(1) 取引の開始

a. 本説明書の交付を受ける

《現行通り》

b. 為替証拠金取引口座の設定

取引所為替証拠金取引の開始に当たっては、あらかじめ当社に為替証拠金取引口座の設定に関する約諾書を差し入れ、為替証拠金取引口座を設定していただきます。その際ご本人である旨の確認書類をご提出していただきます。

c. Yutaka24口座開設申込書兼お客様カード兼確認書**兼特定取引を行う者の届出書**の差し入れ

取引所為替証拠金取引の開始に当たっては、あらかじめ当社に適合性を確認するためのお客様情報を記入したYutaka24口座開設申込書兼お客様カード兼確認書**兼特定取引を行う者の届出書**を差し入れていただきます。

d. 顧客審査

《現行通り》

(2) 発注証拠金の差入れ

《現行通り》

(3) 委託注文の指示

《現行通り》

a. ～ c. 《現行通り》

**d. 新規又は決済の区別**

《省略》

(7) ロスカットの取扱い

当社は、お客様の建玉を決済した場合に生じることとなる損失の額（値洗いによる評価損益及びスワップポイントを加減します。）が**必要**証拠金額に対し**所定の**割合に達した場合、損失の拡大を防ぐため、お客様の計算において転売又は買戻しを行うことが**できます**（「ロスカットルール」といいます）。

《省略》

(8) 証拠金不足の解消を所定の日時までに行わなかった場合の取扱い

お客様が追加証拠金の預託又は建玉の調整等により証拠金不足の解消を**所定の日時**までに行わなかった場合には、当社は、当該取引所為替証拠金取引を決済するため、任意に、お客様の計算において転売又は買戻しを行うものとします（お客様が取引所為替証拠金取引に関し、当社に支払うべき金銭を支払わない場合についても、同様です）。

(9) 証拠金の管理 ～ (11) その他

《省略》

☆決済時の金銭の授受 ～ ☆課税上の取扱い

《省略》

当社への取引の委託の手続きについて

(1) 取引の開始

a. 本説明書の交付を受ける

《省略》

b. 為替証拠金取引口座の設定

取引所為替証拠金取引の開始に当たっては、あらかじめ当社に為替証拠金取引口座の設定に関する約諾書を差し入れ、為替証拠金取引口座を設定していただきます。その際ご本人である旨の確認書類を**ご提示又は**ご提出していただきます。

c. Yutaka24口座開設申込書兼お客様カード兼確認書の差し入れ

取引所為替証拠金取引の開始に当たっては、あらかじめ当社に適合性を確認するためのお客様情報を記入したYutaka24口座開設申込書兼お客様カード兼確認書を差し入れていただきます。

d. 顧客審査

《省略》

(2) 発注証拠金の差入れ

《省略》

(3) 委託注文の指示

《省略》

a. ～ c. 《省略》

**《追加》**

e. ～ h. «順次繰り下げ»

(4) 建玉の保有又は結了の方法

既存の建玉の反対売買に相当する取引を行う場合には、転売又は買戻しとして対象建玉及び取引数量を指定することにより建玉を減じる方法又は既存の建玉との両建てとし、後で**転売・買戻しの申告（建玉整理）**をすることにより建玉を減じる方法のどちらかを選択します。反対売買時に既存の建玉を決済しないで両建てを選択した場合、建玉を**片方ずつ**減じる際にはそれぞれの通常の手数料が徴収されますので、お客様にとっては、二重の手数料を負担することとなります。**転売・買戻しの申告（建玉整理）をすることにより建玉を減じる方法を選択した場合でもそれぞれに手数料がかかります。**また、建玉が両建てとなる期間では、預託が必要な証拠金額が転売又は買戻しとするよりも多くなります。

(5) 委託注文をした取引の成立

委託注文をした取引が成立したときは、当社は成立した取引の内容を明らかにした取引報告書を**原則、電磁的な方法にて**お客様に交付します。

(6) 証拠金の維持

委託をした取引所為替証拠金取引が成立したときは、発注証拠金は**維持**証拠金に振り替わります。また、お客様が預託した証拠金に不足額が生じた場合には、証拠金の追加差し入れ等の措置が必要となります。

(7) 委託手数料 ～ (8) 消費税等の取扱い

«現行通り»

(9) 取引残高、建玉、証拠金等の報告

当社は、取引状況をご確認いただくため、取引成立の都度、**月ごと**（以下「報告対象期間」といいます。）に、お客様の報告対象期間において成立した取引の内容並びに報告対象期間の末日における建玉、証拠金及びその他の未決済勘定の現在高を記載した報告書を作成して、お客様に交付します。**なお、交付方法は原則として電磁的方法によるものとし、お客様のご依頼による郵送交付の場合には、別途定める依頼書をご提出いただいた後に発行することとします。その際、所定の発行手数料の納付を求めることができるものとします。**

(10) 電磁的方法による書面の交付

当社による書面を電磁的方法により交付されることを承諾する場合は、その旨を書面**にて**お知らせください。電磁的方法とは、当社の使用するコンピューター取引システムに備えられた専らお客様の用に供せられるファイル(顧客ファイル)に記録された本取引に関する書類等を、インターネットを通じてお客様の閲覧に供する方法であり、その記録の方法はP D F ファイル形式とします。

(11) 当社の取引停止等の場合の建玉移管等の手続き ～ (12) その他

«現行通り»

当社の概要及び苦情受付・苦情処理・紛争解決について

(1) 当社の概要

«現行通り»

(2) 苦情受付窓口

«現行通り»

d. ～ g. «省略»

(4) 建玉の保有又は結了の方法

既存の建玉の反対売買に相当する取引を行う場合には、転売又は買戻しとして対象建玉及び取引数量を指定することにより建玉を減じる方法又は既存の建玉との両建てとし、後で申告をすることにより建玉を減じる方法のどちらかを選択します。反対売買時に既存の建玉を決済しないで両建てを選択した場合、建玉を減じる際にはそれぞれの通常の手数料が徴収されますので、お客様にとっては、二重の手数料を負担することとなります。また、建玉が両建てとなる期間では、預託が必要な証拠金額が転売又は買戻しとするよりも多くなります。

(5) 委託注文をした取引の成立

委託注文をした取引が成立したときは、当社は成立した取引の内容を明らかにした取引報告書をお客様に交付します。

(6) 証拠金の維持

委託をした取引所為替証拠金取引が成立したときは、発注証拠金は**取引**証拠金に振り替わります。また、お客様が預託した証拠金に不足額が生じた場合には、証拠金の追加差し入れ等の措置が必要となります。

(7) 委託手数料 ～ (8) 消費税等の取扱い

«省略»

(9) 取引残高、建玉、証拠金等の報告

当社は、取引状況をご確認いただくため、**お客様から請求があった場合は**取引成立の都度、**お客様からの請求がない場合は四半期ごと**（以下「報告対象期間」といいます。）に、お客様の報告対象期間において成立した取引の内容並びに報告対象期間の末日における建玉、証拠金及びその他の未決済勘定の現在高を記載した報告書を作成して、お客様に交付します。

(10) 電磁的方法による書面の交付

当社による書面を電磁的方法により交付されることを承諾する場合は、その旨を書面**又は電磁的方法で**お知らせください。電磁的方法とは、当社の使用するコンピューター取引システムに備えられた専らお客様の用に供せられるファイル(顧客ファイル)に記録された本取引に関する書類等を、インターネットを通じてお客様の閲覧に供する方法であり、その記録の方法はP D F ファイル形式とします。

(11) 当社の取引停止等の場合の建玉移管等の手続き ～ (12) その他

«省略»

当社の概要及び苦情受付・苦情処理・紛争解決について

(1) 当社の概要

«省略»

(2) 苦情受付窓口

«省略»

※お取引に関するお問い合わせ

《現行通り》

※お取引に関する苦情相談

受付時間：9：00～**17：30**（土日・祝日等を除く）

窓口：豊トラスティ証券株式会社

**お客様相談窓口** 03-3667-5260

F A X：03-3667-5264

受付方法：電話

（3）苦情処理・紛争解決

《現行通り》

取引所為替証拠金取引及びその委託に関する主要な用語

・受渡決済（うけわたしけっさい）～・指値注文（さしねちゅうもん）

《現行通り》

・指定決済法（していけっさいほう）

各通貨ペアにおいて、別々に建てた複数の建玉を保有している状態で、その建玉の反対売買を行った場合、保有している建玉の中から決済を行いたい任意の建玉を指定して決済する方法をいいます。または同一の取引所為替証拠金取引において既存の建玉の反対売買に相当する取引が成立した場合、既存の建玉との両建てとし、後でお客様が**転売・買戻しの申告（建玉整理）をすることにより**建玉を減じる方法をいいます。

・証拠金（しょうこきん）～・ロールオーバー

《現行通り》

（連絡先）

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-16-12

豊トラスティ証券株式会社

お客様サポートデスク：0120-365-281

FAX：03-3667-5232

（**月曜日7:00～土曜日7:00までの24時間受付**）

取引所為替証拠金取引に関するお問い合わせは、上記の連絡先で承ります。

【別表】取引所為替証拠金取引の種類

《現行通り》

※お取引に関するお問い合わせ

《省略》

※お取引に関する苦情相談

受付時間：9：00～**18：00**（土日・祝日等を除く）

窓口：豊トラスティ証券株式会社

**コンプライアンス部コンプライアンス金融課** 03-3667-5260

F A X：03-3667-5264

受付方法：電話

（3）苦情処理・紛争解決

《省略》

取引所為替証拠金取引及びその委託に関する主要な用語

・受渡決済（うけわたしけっさい）～・指値注文（さしねちゅうもん）

《省略》

・指定決済法（していけっさいほう）

各通貨ペアにおいて、別々に建てた複数の建玉を保有している状態で、その建玉の反対売買を行った場合、保有している建玉の中から決済を行いたい任意の建玉を指定して決済する方法をいいます。または同一の取引所為替証拠金取引において既存の建玉の反対売買に相当する取引が成立した場合、既存の建玉との両建てとし、後でお客様が**決済の対象とする建玉を指定して申告を行うことで**建玉を減じる方法をいいます。

・証拠金（しょうこきん）～・ロールオーバー

《省略》

（連絡先）

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-16-12

豊トラスティ証券株式会社

お客様サポートデスク：0120-365-281

FAX：03-3667-5232

（**土日を除く24時間受付**）

取引所為替証拠金取引に関するお問い合わせは、上記の連絡先で承ります。

【別表】取引所為替証拠金取引の種類

《省略》

# Yutaka24重要事項説明書・新旧対照表

改定	現行
<p>○重要事項説明書（必ずお読みください） 「Yutaka24（くりっく365）」 <u>（2021年1月）</u></p> <p>【会社の概要】            ≪現行通り≫</p> <p>【リスクの概要】            （1）～（2）≪現行通り≫            （3）取引をする際には、お客様は買い気配値（ビッド価格）で売り、売り気配値（アスク価格）で買うことができます。なお、通常買い気配値よりも売り気配値の方が高く、この価格差（スプレッド）は相場急変によって <u>広がったり、連続的な提示が不可能又は困難となったりする</u> 可能性があり、意図した通りのお取引ができないことがあります。            （4）≪現行通り≫  <u>（5）追加証拠金の預託又は建玉の調整等により証拠金不足の解消を取引再開日の日本時間午後5時30分（取引時間の短縮等の変更の場合には、取引再開日の日本時間午後12時30分）までに行わなかった場合には、お客様の計算において保有する全ての建玉が任意に決済されます。なお、取引所の取引再開日が国内の金融機関の休業日の場合、当該建玉の処分は行いません。</u>  <u>（6）ロスカット発動の判定がなされた場合には、原則自動的に取引時間内の全ての建玉が決済されます。ロスカット発動時に取引時間外等の事由により建玉が残った場合には、取引再開時以降の価格で当該建玉についてのロスカットによる反対売買が順次行われます。</u></p> <p>【証拠金とレバレッジ】  <b>維持</b>証拠金は東京金融取引所が算定する証拠金基準額及び取引対象である通貨ペアの価格に応じて当社が別途定める金額によって変動しますので、通貨ペアの取引金額に対する比率（レバレッジ）は、常に一定ではありませんが、法令等の定めに従い、最大25倍以下になるように設定されています。また、少ない元手で大きな利益を手に行うことができますが、反面、大きな損失につながることもありますので、自己の判断と責任において取引を行う必要があります。なお、お客様が差し入れる証拠金は、東京金融取引所に預託することにより、当社の資金とは区分されるとともに、東京金融取引所においても同取引所の資産と区分して管理されます。お客様から預託を受けた証拠金が当社に滞留する場合は、株式会社三井住友銀行における金銭信託により、当社の自己の資金とは区分して管理します。</p> <p>【コスト】            ≪現行通り≫</p> <p>【取扱通貨について】            ≪現行通り≫</p> <p>【その他】            ≪現行通り≫</p>	<p>○重要事項説明書（必ずお読みください） 「Yutaka24（くりっく365）」 <u>（2020年11月）</u></p> <p>【会社の概要】            ≪省略≫</p> <p>【リスクの概要】            （1）～（2）≪省略≫            （3）取引をする際には、お客様は買い気配値（ビッド価格）で売り、売り気配値（アスク価格）で買うことができます。なお、通常買い気配値よりも売り気配値の方が高く、この価格差（スプレッド）は相場急変によって <u>広がる</u> 可能性があり、意図した通りのお取引ができないことがあります。</p> <p>（4）≪省略≫  <u>≪追加≫</u></p> <p><u>≪追加≫</u></p> <p>【証拠金とレバレッジ】  <b>必要</b>証拠金は東京金融取引所が算定する証拠金基準額及び取引対象である通貨ペアの価格に応じて当社が別途定める金額によって変動しますので、通貨ペアの取引金額に対する比率（レバレッジ）は、常に一定ではありませんが、法令等の定めに従い、最大25倍以下になるように設定されています。また、少ない元手で大きな利益を手に行うことができますが、反面、大きな損失につながることもありますので、自己の判断と責任において取引を行う必要があります。なお、お客様が差し入れる証拠金は、東京金融取引所に預託することにより、当社の資金とは区分されるとともに、東京金融取引所においても同取引所の資産と区分して管理されます。お客様から預託を受けた証拠金が当社に滞留する場合は、株式会社三井住友銀行における金銭信託により、当社の自己の資金とは区分して管理します。</p> <p>【コスト】            ≪省略≫</p> <p>【取扱通貨について】            ≪省略≫</p> <p>【その他】            ≪省略≫</p>